

# 令和6年度 理科 授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>半数以上の項目で正答率が目標値を下回っている。</li> <li>集中力が続かない生徒もいるが、観察実験の授業を積極的に取り組む。観察・実験から分かることを考え、表現することが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的、基本的な事項の定着。</li> <li>得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストや単元テストを実施し、学習内容の定着を図る。</li> <li>計算や作図などの演習、観察・実験の考察を書く際に、必要に応じてキーワードやヒントを提示しながら段階的に指導する。</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>質量パーセント濃度、音の速さと距離の関係など、計算問題の正答率が著しく低い。</li> <li>レポート形式の文章を読み、特徴を捉え、整理しながら問題を解くことが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的、基本的な事項の定着。</li> <li>公式をもとに計算する能力。</li> <li>問題文から、解答を導くポイントを見つける力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストや単元テストを実施し、学習内容の定着を図る。</li> <li>レポート形式の文章を読み、解くために必要な情報を整理する指導を行う。その際に既習事項を復習する指導を行う。</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学式、化学反応式や圧力や電気の分野の計算問題の正答率が低い。</li> <li>文章記述の問題によっては、無解答である。直前の問題やレポート文章の内容から推測し、言葉で表現することが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的、基本的な事項の定着。</li> <li>公式をもとに計算する能力。</li> <li>得られた結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する力。</li> <li>問題文から、解答を導くポイントを見つける力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストや単元テストを実施し、学習内容の定着を図る。</li> <li>問題文や表、グラフを読み取り、計算する問題を重点的に復習する指導を行う。</li> <li>文章問題の着眼点を考えさせて解く指導を行う。その際に既習事項を確認し、復習する指導を行う。</li> </ul>